

広袴便り

盆踊り大会顛末記

平成十七年春、町内会の役員決めに参加していた夫が戻るなり「文化部長になったよ」と一言。あらあら、広袴町内会に入会して一年にしてなつてしまった部長職。でも早いうちにやっておいた方が顔見知りも増えるし(まあいいか、夫唱婦随で付いていきましょう)と腹をくくったその時、「でも盆踊り大会の日が田舎の法事と重なるんだよなあ」と追いつちの一言。

「でもみんな大丈夫って言ってたし」

動き出した船から下りるわけにも行かず、文化部行事はスタートしていきました。

盆踊り大会は先の広袴日よりでも紹介のあった子ども会、消防後援会、消防団、広楽会など、世代も活動も異なった団体たちと協力しながら行われています。日常的に交流のある仲間組織される各種団体の団結力は頼もしいばかりです。スタートしたばかりの町内会文化部も負けてはいられないと、盆踊り大会への不安がやる気にギアチェンジされていきました。

また、盆踊りの花形、踊り子さんたちも暑い中練習を重ね、鶴川地区の各町内会に助っ人に行き踊りに磨きをかけます。

そしていよいよ広袴町内会盆踊り大会当日です。



このやぐらも町内会メンバーの力作

広袴町内会
会報第6号

発行日
平成17年10月25日

発行所
東京都町田市
広袴町町内会

発行人
吉川俊雄



(カット・谷岡 克昭)

昨年はいにくの雨降りの中での盆踊りとなつてしまい、今年の人出の予想が難しいものとなりました。地域人口が増えていることはわかっていますがとりあえず、出店の規模は昨年同様でいくことになりました。ところが、うれしい誤算です。早い時間からどのお店も行列の出来る盛況ぶり。子ども達に喜んでもらおうと自宅で飼育したカブトムシが並んだお店も大人気でした。

来年は出店の規模をもっと大きくして欲しいとの声もあり、皆様のご協力を期待するところでです。

広袴町内会は急激に地域人口が増えた町です。新しい土地に大きな期待と小さな不安を抱えて引越してきた方たち。長年この土地に暮らし、変わりゆく町並み顔ぶれを眺めながら変化に期待しながらも昔を懐かしむ方たち。そんな中ゆるゆるとした絆を紡ぎながら安心した心地よい町内会ができたなら、町内会行事がその一助になればと考えています。

今後もあるってご参加ください。

最後に盆踊り大会に関わったすべての皆様、お疲れ様でした、そしてありがとうございます。

(文化部長・江川裕美子)

268
x3段
= 2304

広袴町内会自主防災訓練 実施報告

猛暑の中、防災訓練に多数の方々の協力を頂き、無事終わりました。ご協力ありがとうございました。
 日時 平成十七年七月三十一日午前九時～十一時迄
 場所 広袴公園多目的広場

訓練内容 一、煙ハウス 二、三角巾の使用法 三、消火器使用方法 四、バケツリレー 五、炊き出し



毛布を使った担架訓練

挨拶・指導 町内会長吉川俊雄氏、町田市防災課主幹田中氏、町田消防署鶴川出張所佐藤氏、町田消防団第三分団団長吉川和男氏、町田消防団第三分団第七部部長吉川清治氏。

出席者 大人二三人、子供七五人、合計三百七人(午前十時現在)。遅刻した人数五十人。総勢三三七人。
 アルファームの残りは班長を通し分配する。アルファーム炊き出しに協力して頂いた方々は高桑正行氏、津志田雅子氏、広楽会、子供会他多数の方々の協力を頂きありがとうございました。

尚、前任者の西川文二氏の協力に感謝いたします。
 反省として、一、時期が七月が適当であったか(猛暑) 二、アルファームの炊き出しは現地で実施すべきではなかったか 三、猛暑の中飲み物を先に渡すべきだった 四、各担当者と密に打ち合わせをすべきだった。
 (自主防災隊長・久保田啓臣)

広袴会館の竣工に寄せて

東京都町田市広袴4-4-3。ここが新築なつたばかりの町内会館の住所であります。正式な名称を、「広袴会館」と言います。町内会員の皆様は場所をご存知とは思いますが…。バス路線でいいますと、鶴川駅より真光寺公園行で三ツ目のバス停車平と四ツ目の広袴中央の丁度中間地にあたる広袴中央の交差点より、すぐの所に会館を確認することが出来ます。広袴公園の南、私達の町のほぼ中央に位置しています。

新会館の用地面積は約120坪、建物面積は一階と二階を合わせて約66坪、会館の造りは子供から老人、身体の不自由な方までを優しく考えた建築様式となっております。

ります。又建物全体はベージュ色で配色され、建築を請け負った山口建設さんの力作であります。

しかしこの広袴会館の竣工までの道程は、長く厳しいものでした。直接私は担当していませんので、資料等からの抜粋で恐縮ではございますが、改めて経過を書かせて頂きます。

そもその話は、今から約17年前の昭和63年に遡ります。一口に17年と言っても、生まれた子供が高校生活を終える年月にほぼ等しい期間です。

昭和63年

土地の所有者に無償による提供を要請。度重なる戸別訪問の始まりであります。22名の土地所有者より約240坪の用地提供の内諾を得、町内会館用地対策委員会を設置。

平成元年

当時の住宅整備公団に会館用地としての換地への要望書を提出。また11月には、広袴町内会館建設委員会を設置し、地権者合同会議を重ね、地道に小さな確実をひとつひとつ積み上げていく。平成の年も2桁を迎える頃まで委員会のメンバーに依る用地確保の作業は粛々と進んでいきました。

平成10年

3月に入り広袴町内会館建設委員会より会館整備委員会に改称、改組。

平成13年

町田市助成要綱に基づく会館の建設を町田市に申し出、以来平成16年までに町田市関係者との夥しい協議を重ねる。

平成16年

町田市に寄附用地の移転登記を完了。(但し21名分の委員会を広袴中規模施設委員会に改称し、竣工に向けての会合が再び開始される。

町田市の補助対象となっている集会所の見学を数ヶ所行ない、新しい会館の青写真を描き、建設の入札へと移っていきます。入札は3業者の中より山口建設に決定。これが平成16年の師走のイベントでした。さていよいよクライマックスの平成17年に入ります。



来賓の皆様を迎えての入魂式

平成17年

1月に町田市へ助成金要望書や建築確認申請書の提出。2/12に地鎮祭、2/22着工、3/31上棟式、4/24町内会総会にて会館拠出金及び寄附金募金活動実施を決定。それを受け6月より募金活動を町内各班で実施。6月下旬には会館入口の右手の場所に設置予定の、地権者の名前を刻印する石碑工事の契約も終了。町内の地権者を始め各役員、委員会各位、町内会員の長年の思いを乗せた会館建設は、春3月の上棟式より丸5ヶ月の月日を要し、8/31に無事に完了し、引き渡しと相成りました。

引渡しも終えた9/3は旧町内会館から新会館への引越しの日です。当日は朝の9時からという事前連絡にも拘わらず、又暑い朝ではあったが、定刻前から既に引越し作業は始まっていて、関係者の皆様方の積極的、自発的な行動にはいつも頭が下がる思いがします。このような方々に町内の行事や会合は支えられ運営されている事も改めて感じ入った次第です。

この旧会館の土地を約20年に亘り無償で提供された方を皆様はご存知だったでしょうか？
吉川勝さんです。この世知辛い世の中で20年もの長い間町内会の為に協力下さいました。この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

旧会館からは冷蔵庫、湯呑、コップ、座蒲団、扇風機、黒板等の備品の他に、町内会の歴代の会長の写真を納めた額縁や、旧会館建設時に寄附をされた方達の名前を記した板等も手際よく外され、全体の搬出作業は昼前には終了しました。処分するものと引き続き新しい会館で使用する物は同時に区分されました。

さて引越しも終わり、残すは9/10の広袴会館竣工記念の式典及び祝賀会の大イベントの様子であります。式次第に沿ってご報告致します。

九月十日 快晴

式典の開始は午前10時ですが、式典の始まる少し前に地権者および関係者の皆様、会館右手の石碑の前に集合し神主さんによる入魂式の儀式が取り行なわれました。石碑には当然この20年の間に物故された方の名前も刻印されております。儀式も順調に終了し一息ついた頃には、来賓の寺田市長、大塚市議会議長を始め市役所、警察署、消防署の関係者が、全員集合となり、ほぼ定刻の10時に、本日の司会進行役の森吾一様の挨拶で式典が始まりました。

まずは「開会の辞」を吉川忠作様より、この土地に關しては重要な問題が山積しており、歴代の町内会長始め建設にたずさわった方々の尽力に対しての御礼の言葉を頂きました。その後は広袴会館建設委員会委員長の吉川俊雄様より寺田市長、大塚議長始め関係各位への御礼、地権者への御礼、山口建設様、旧町内会館の用地を無償提供された吉川勝様への御礼と感謝。町内会員の過分なるご芳志に御礼とのスピーチを頂きました。

建設経過報告は中田辰英様より、昭和63年の新会館設立の立ち上げより、竣工までを微に入り細に渡りご報告頂きました。又その中地権者22名の内、既に半数の11名の方が亡くなられていることも併せてご報告ありました。

続きまして、感謝状の贈呈式です。
司会の森様より22名の会館用地寄附地権者の名前を讀み上げ、その中より代表者として、吉川久雄様に寺田市長より感謝状が贈呈されました。また、旧町内会館用地提供者の吉川勝様に、広袴町内会会長の吉川俊雄様より記念品の贈呈。次に、施工業者の山口建設の山田社長には、建設委員会委員長より記念品の贈呈。感謝状や記念品の贈呈式も滞り無く終わり、来賓者の

祝辞です。まずは寺田市長より、会館の竣工落成の祝辞を頂き、地権者の方や地域の皆様の協力で、この施設が出来た事に感謝されていました。引き続き大塚市議会議長の挨拶です。会館落成に伴い、人の結束の強さ、絆の強さを強調されていました。今後は地域のコミュニティをしっかりと作って貰いたいとのスピーチでありました。鶴川地区町内会自治会連合会大谷五郎会長より、以前10年間お世話になった土地ということ、第二の故郷であるというお話や、町内会自治会への予算付けを行政の方へ、よろしくとのことでした。来賓者の祝辞は、とりあえずここで終了し、名前のみの紹介が引き続き行なわれました。町田市助役加島様他12名のご紹介。

11時からは式典より祝賀会へ移行。前町内会長の吉川和志様。前会長としての係わりの部分を始め、いろいろなエピソードを楽しくお話して貰いました。

乾杯は大塚不士夫様の音頭により、会館の益々の発展とご来席の皆様のご健勝とご発展を祈念して乾杯となりました。歓談約一時間の後の閉会の辞は建設委員会副委員長の上杉孝三郎様より二時間に亘る竣工式の参加者への御礼と広袴町内会とフレッシュタウン鶴川自治会がスクラムを組み頑張っていく所存を表明し、閉会の辞とされました。

10時に始まった式典及び祝賀会は午後一時に終了し、その後は町内会員の皆様への記念オープンとなり、祝酒がふるまわれ、無事に終了することができました。以上、誠に簡単ではございますが、新しい広袴会館の竣工までの皆様のご苦労と、竣工式の模様をご報告させて頂きました。

※会館の名称は、公募により52名の応募がありました。その中で「広袴会館」の名称が37名あり、多くの方

の希望する名称に決まり、その37名の方々の中から抽選で3名の方に記念品を贈呈しました。
(広報部長・松田清貴)



明るくバリアフリーの入口

掲示板

会館使用方法のお知らせ

会館の使用申込みの受付は、原則毎週日曜日、午前9時より午前10時まで、会館事務室で行っています。

編集後記

厳しい船出となりましたが、なんとか岸にたどり着くことができました。
(松田)

「広袴便り」を通じて、この広袴コミュニティの相互理解と情報共有がさらに深まればと念じております。
(小菅)

広袴に住んで8年。初めて班長として広報部へ。「住みやすいマチに！」微力ながら編集のお手伝いの年とします。
(小菅)

本6号からは、掲載内容を町内会行事や、生活に密着したものになり、タイムリーに発行できるように頑張ります。
(竹野)

広袴の歴史と良さを知った「広袴便り」新たな歴史作りに「何か手伝えるか」の思いで参加します。
(津志田)

誇々の論のおわりで今日の月後書きに一言記す長き夜
(広瀬)

今号は、より読みやすい紙面作りをめざし、レイアウトを再検討し、文字・写真を大きくしました。(三野)今年度の新しいメンバーも加わり始まった広報紙作り出来上がってホッとしています。
(百瀬)

広報部長 松田清貴

編集人 小菅厚之 小菅盛平 竹野義明

谷岡克明 津志田雅子 西川文二

広瀬俊雄 三野祥子 百瀬千弥子

(写真・松田清貴・竹野義明)

印刷 (株)サン・メールサービス